

2021年度 第3四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については、回復の傾向に鈍化が見られる。受注見通しについては、「減少」とする企業の割合が低下するなど、引き続き回復傾向にある。

受注単価については、大きな変化は見られず、資金繰りについては、全体的に若干の好転傾向が見られた。また、採算状況については、前回調査に比べ若干の悪化となった。

受注余力については、「余力あり」の企業が若干増加した。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 業種によって差が見られるものの、全体として回復の傾向に鈍化が見られる。
- (2)受注見通し : 「減少」とする企業の割合が2割を下回るなど、引き続き回復傾向が見られる。
- (3)受注単価 : 業種によって若干上昇したものの、全体的に大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 全体的に若干の好転傾向がみられる。
- (5)採算状況 : 大幅に持ち直した前回調査に比べ、若干の悪化傾向が見られる。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が62.0%と、前期と比較して2.3%の増加となった。
(「受注余力あり」とする企業の割合が増加した=マイナス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち20社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

府内中小企業の受注動向は、コロナ禍による落ち込みからの回復が鈍化している様子が窺える。調査対象企業からは、PCやデータセンター等の需要拡大によって好調が続く半導体分野をはじめ、海外向けの工作機械や建設機械等の分野で、安定した受注を確保している企業が見られた一方で、自動車メーカーの稼働停止の影響を受ける企業や、電子部品等の調達難によって受注機会を失う企業も見られた。

また、調査対象のほぼ全ての企業に、原材料価格高騰の影響が見られるものの、仕入の上昇分を価格に転嫁できないとの声が多く聞かれており、本調査において、「受注単価」の上昇が一部の業種に留まったことや、「採算状況」に悪化傾向が見られたことから、府内中小企業の厳しい状況が窺える。

今後も新型コロナウイルス変異株の感染拡大による外部環境の変化に伴い、上記諸問題に加え、設備投資やサプライチェーンへの影響が懸念されるため、先行き不透明な状況が続いていく。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2021年10月～12月
(2021年12月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 241社 (回答率 80.3%)

公益財団法人 京都産業21

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2021年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

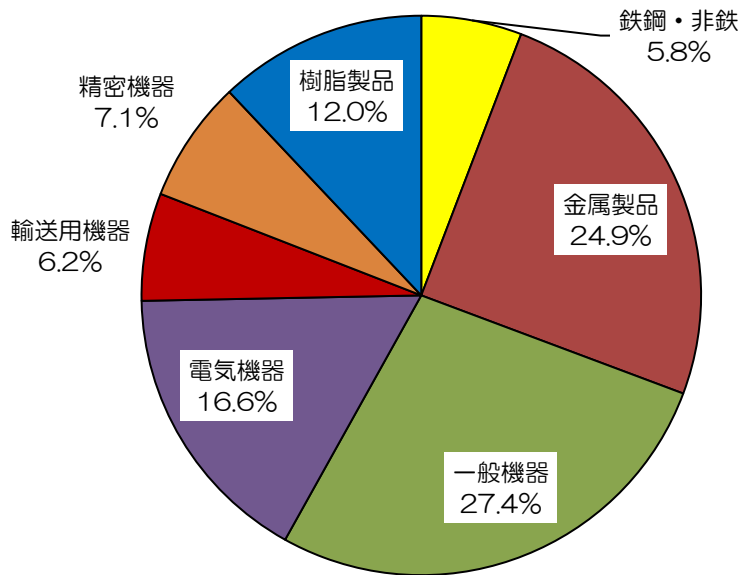
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	241社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	14社	(5.8%)	
金属製品関係	60社	(24.9%)	
一般機器関係	66社	(27.4%)	
電気機器関係	40社	(16.6%)	
輸送用機器関係	15社	(6.2%)	
精密機器関係	17社	(7.1%)	
樹脂製品関係	29社	(12.0%)	
④ 回答率	80.3%	[前回：80.3%]	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.1%		1 1.7%		1 2.5%			3 10.3%
~300万円	22 9.1%		8 13.3%	3 4.5%	4 10.0%	2 13.3%	2 11.8%	3 10.3%
301~999万円	12 5.0%		3 5.0%	6 9.1%		1 6.7%		2 6.9%
1000~2000万円	133 55.2%	9 64.3%	34 56.7%	39 59.1%	22 55.0%	4 26.7%	11 64.7%	14 48.3%
2001~5000万円	53 22.0%	4 28.6%	13 21.7%	15 22.7%	10 25.0%	3 20.0%	2 11.8%	6 20.7%
5000万円超	16 6.6%	1 7.1%	1 1.7%	3 4.5%	3 7.5%	5 33.3%	2 11.8%	1 3.4%
合 計	241 100%	14 100%	60 100%	66 100%	40 100%	15 100%	17 100%	29 100%

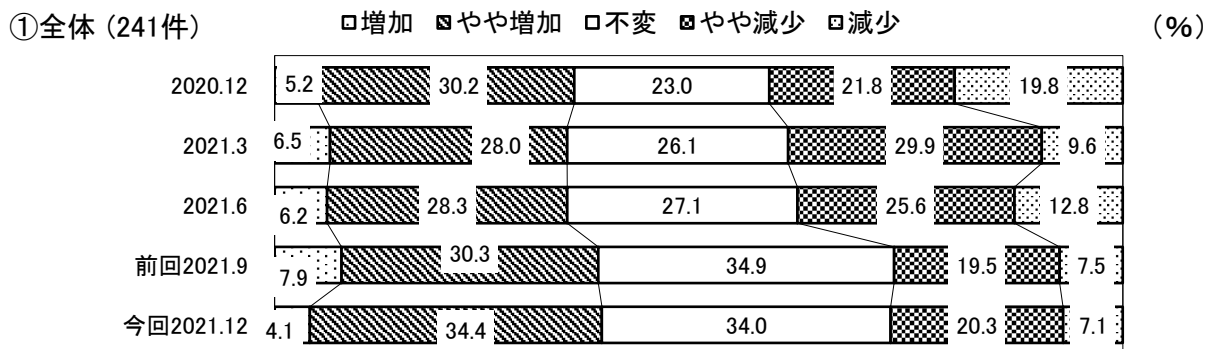
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

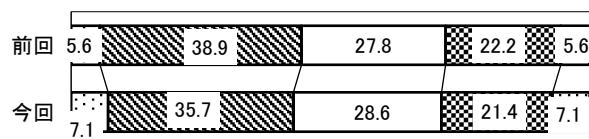
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	21 8.7%	4 28.6%	3 5.0%	6 9.1%	5 12.5%			3 10.3%
6~10人	29 12.0%	1 7.1%	6 10.0%	11 16.7%	1 2.5%	3 20.0%	4 23.5%	3 10.3%
11~20人	62 25.7%	2 14.3%	16 26.7%	20 30.3%	10 25.0%	1 6.7%	5 29.4%	8 27.6%
21~30人	37 15.4%	3 21.4%	13 21.7%	11 16.7%	4 10.0%	1 6.7%	1 5.9%	4 13.8%
31~50人	41 17.0%	2 14.3%	12 20.0%	10 15.2%	9 22.5%	2 13.3%	3 17.6%	3 10.3%
51人以上	51 21.2%	2 14.3%	10 16.7%	8 12.1%	11 27.5%	8 53.3%	4 23.5%	8 27.6%
合 計	241 100%	14 100%	60 100%	66 100%	40 100%	15 100%	17 100%	29 100%

3. 調査結果

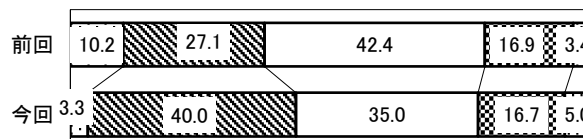
(1) 受注量について



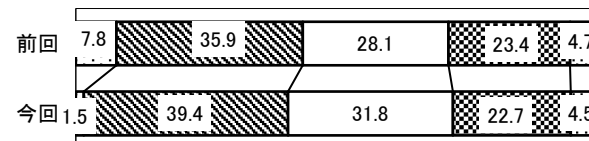
②鉄鋼・非鉄 (14件)



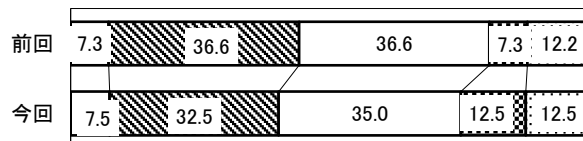
③金属製品 (60件)



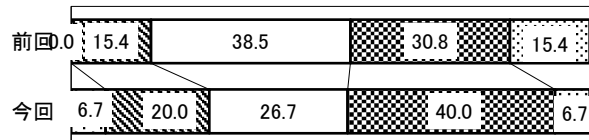
④一般機器 (66件)



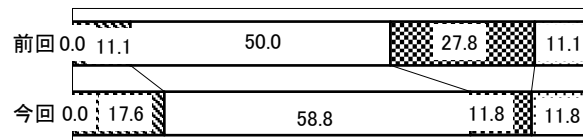
⑤電気機器 (40件)



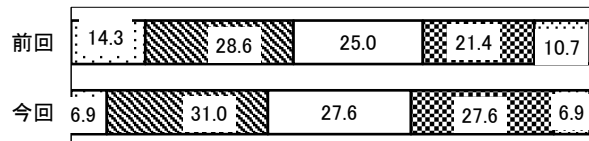
⑥輸送用機器 (15件)



⑦精密機器 (17件)



⑧樹脂製品 (29件)



○全体

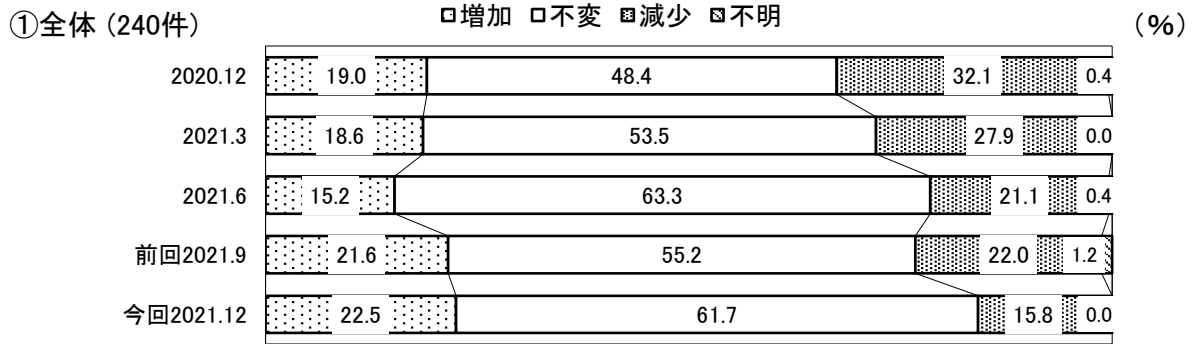
・10月～12月期の受注量の業況判断D I (「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は11.1となり、前期(7月～9月期)のD I値11.2と比べ0.1ポイント低下し、業種によって差が見られるものの、全体として回復の傾向に鈍化が見られる。

○業種別

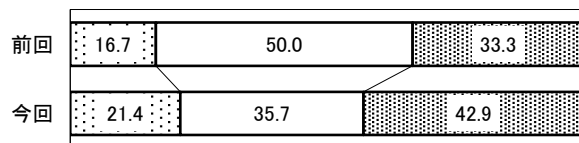
・D I値は、金属製品(21.6)、電気機器(15.0)、鉄鋼・非鉄(14.3)、一般機器(13.7)、樹脂製品(3.4)の5業種でプラスとなり精密機器(▲6.0)、輸送用機器(▲20.0)の2業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、精密機械(21.8ポイント)、輸送用機器(10.8ポイント)、金属製品(4.6ポイント)の3業種で上昇。一般機器(▲1.9ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲2.4ポイント)、樹脂製品(▲7.4ポイント)、電気機器(▲9.4ポイント)の4業種で低下している。

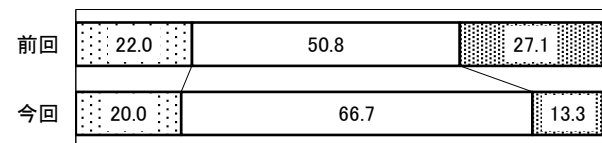
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



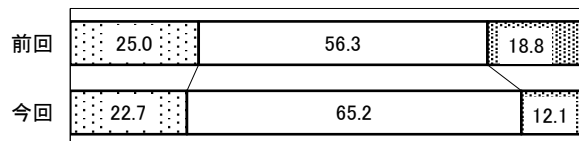
②鉄鋼・非鉄 (14件)



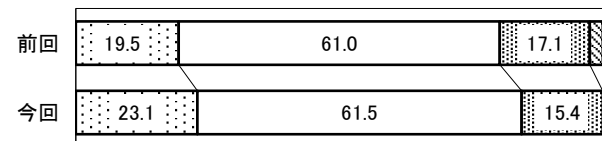
③金属製品 (60件)



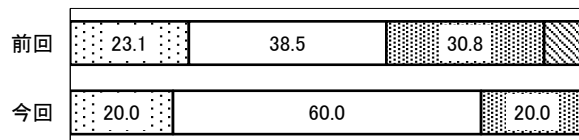
④一般機器 (66件)



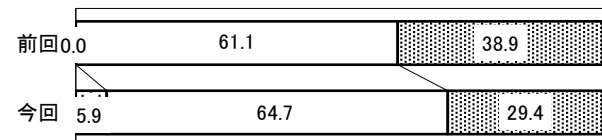
⑤電気機器 (39件)



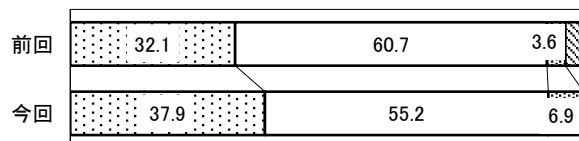
⑥輸送用機器 (15件)



⑦精密機器 (17件)



⑧樹脂製品 (29件)



○全体

・次期 (1月~3月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は6.7となり、前期 (7月~9月期) 調査時のD I値▲0.4と比べ7.1ポイント上昇し、「減少」とする企業の割合が2割を下回るなど、引き続き回復傾向が見られる。

○業種別

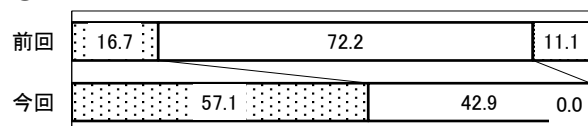
・D I値は、樹脂製品 (31.0)、一般機器 (10.6)、電気機器 (7.7)、金属製品 (6.7) の4業種でプラス。輸送用機器の1業種のみ±0となり、鉄鋼・非鉄 (▲21.5)、精密機器 (▲23.5) の2業種でマイナスとなった。

・D I値を前回と比較すると、精密機器 (15.4ポイント)、金属製品 (11.8ポイント)、輸送用機器 (7.7ポイント)、電気機器 (5.3ポイント)、一般機器 (4.4ポイント)、樹脂製品 (2.5ポイント) の6業種で上昇。鉄鋼・非鉄 (▲4.9ポイント) の1業種で低下している。

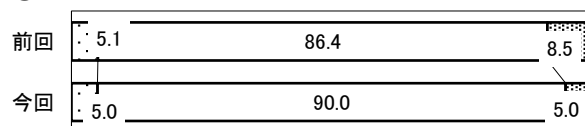
(3) 受注単価について



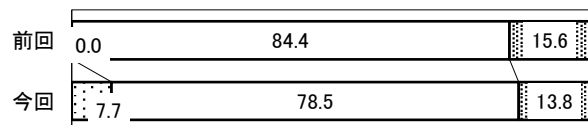
②鉄鋼・非鉄 (14件)



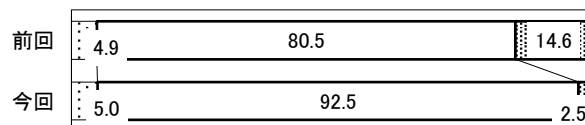
③金属製品 (60件)



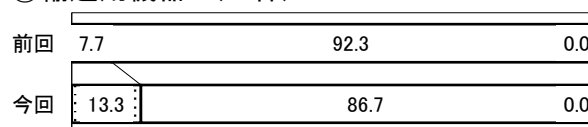
④一般機器 (65件)



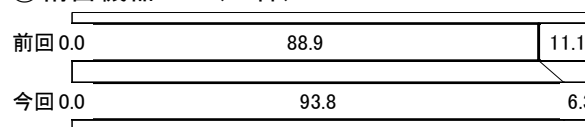
⑤電気機器 (40件)



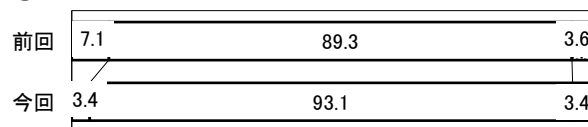
⑥輸送用機器 (15件)



⑦精密機器 (16件)



⑧樹脂製品 (29件)



○全体

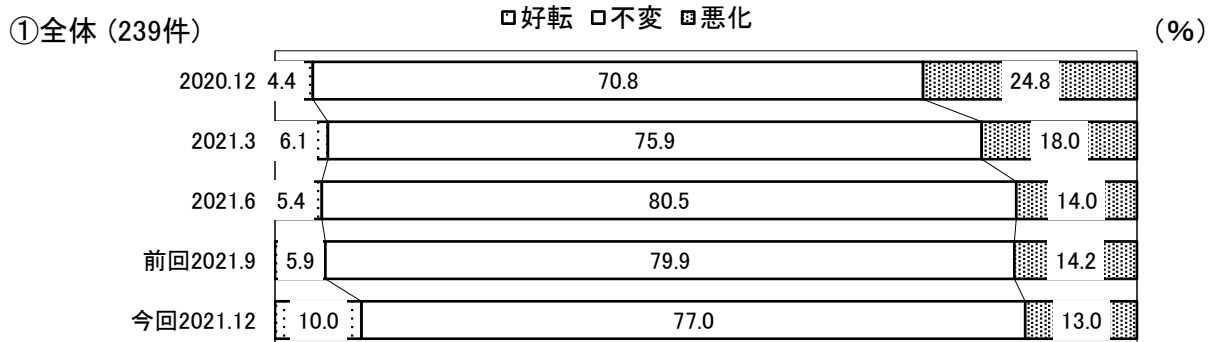
- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I (「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は2.5となり、前期(7月～9月期)のD I値▲6.2と比べて8.7ポイント上昇と、業種によって若干上昇したものの、全体的に大きな変化はなかった。

○業種別

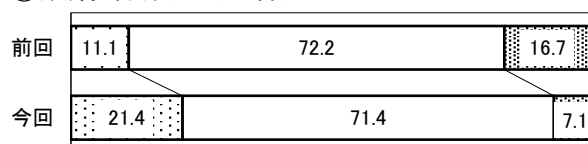
- ・D I値は、鉄鋼・非鉄(57.1)、輸送用機器(13.3)、電気機器(2.5)の3業種でプラス。金属製品・樹脂製品の2業種で±0となり、一般機器(▲6.1)、精密機器(▲6.3)の2業種でマイナスとなった。

- ・D I値を前回と比較すると、鉄鋼・非鉄(51.5ポイント)、電気機器(12.2ポイント)、一般機器(9.5ポイント)、輸送用機器(5.6ポイント)、精密機器(4.8ポイント)、金属製品(3.4ポイント)の6業種で上昇、樹脂製品(▲3.5ポイント)の1業種で低下している。

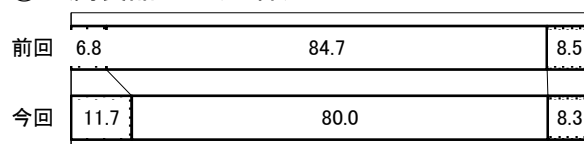
(4) 資金繰りについて



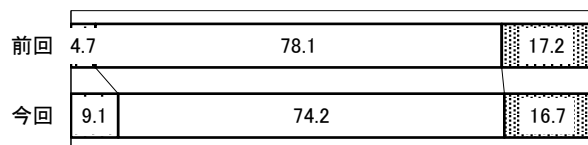
②鉄鋼・非鉄 (14件)



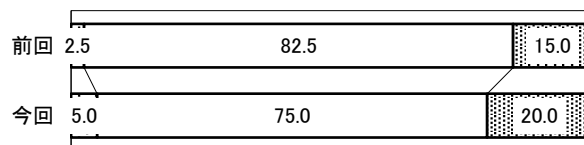
③金属製品 (60件)



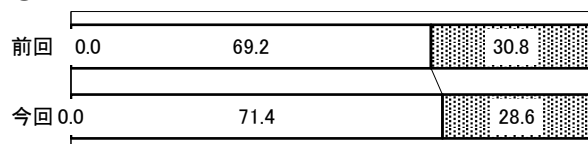
④一般機器 (66件)



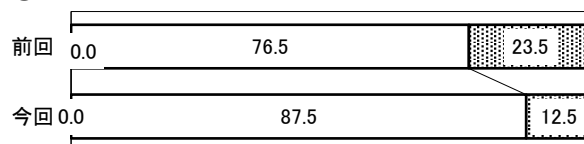
⑤電気機器 (40件)



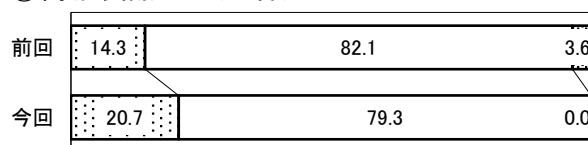
⑥輸送用機器 (14件)



⑦精密機器 (16件)



⑧樹脂製品 (29件)



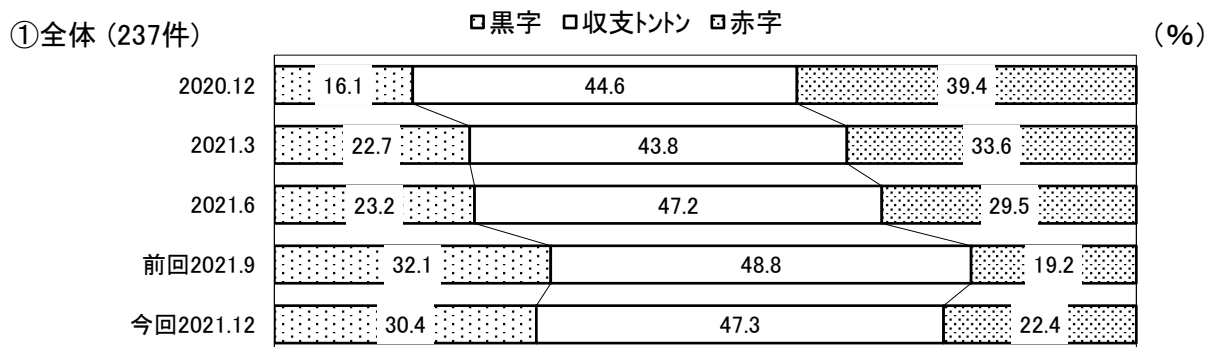
○全体

- ・10月～12月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲3.0となり、前期(7月～9月期)のD I値▲8.3と比べて5.3ポイント上昇と、全体的に若干の好転傾向がみられる。

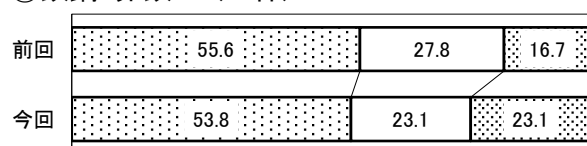
○業種別

- ・D I値は、樹脂製品(20.7)、鉄鋼・非鉄(14.3)、金属製品(3.4)の3業種でプラスとなり、一般機器(▲7.6)、精密機器(▲12.5)、電気機器(▲15.0)、輸送用機器(▲28.6)の4業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前回と比較すると鉄鋼・非鉄(19.9ポイント)、精密機器(11.0ポイント)、樹脂製品(10.0ポイント)、金属製品(5.1ポイント)、一般機器(4.9ポイント)、輸送用機器(2.2ポイント)の6業種で上昇。電気機器(▲2.5ポイント)の1業種で低下している。

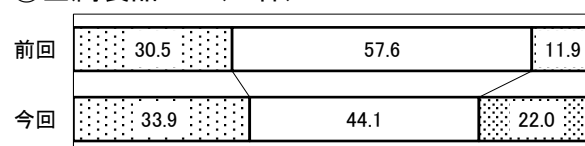
(5) 採算状況について



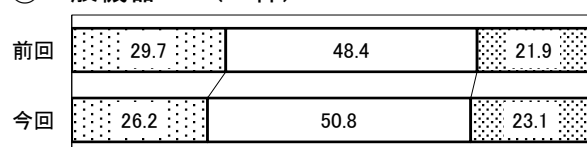
②鉄鋼・非鉄 (13件)



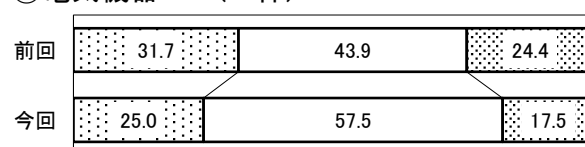
③金属製品 (59件)



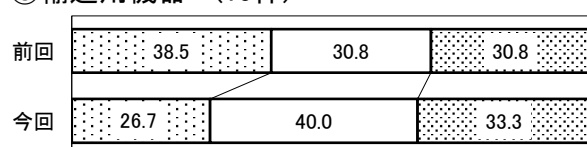
④一般機器 (65件)



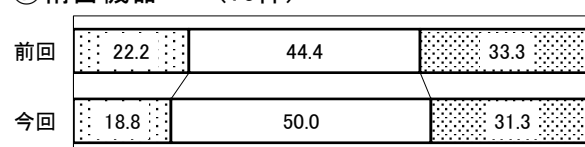
⑤電気機器 (40件)



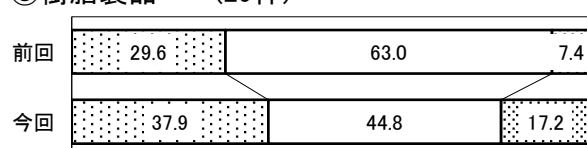
⑥輸送用機器 (15件)



⑦精密機器 (16件)



⑧樹脂製品 (29件)



○全体

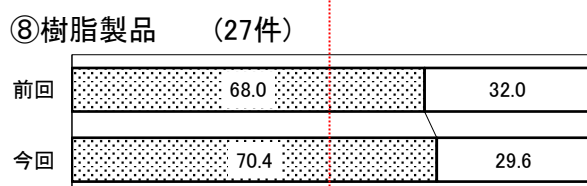
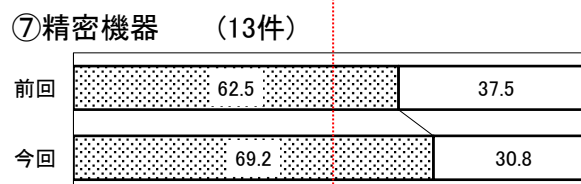
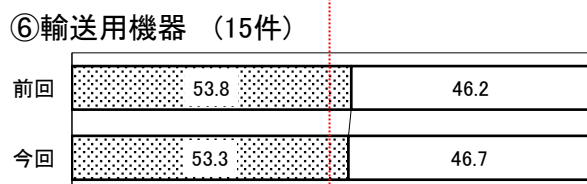
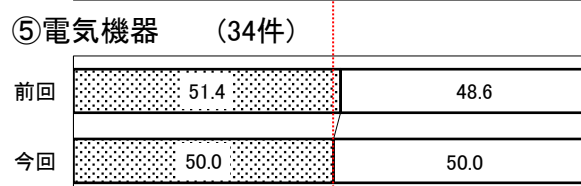
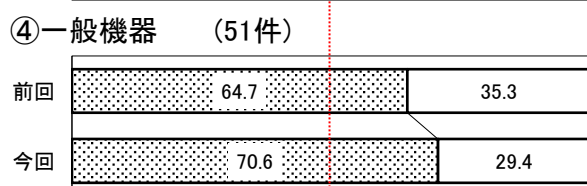
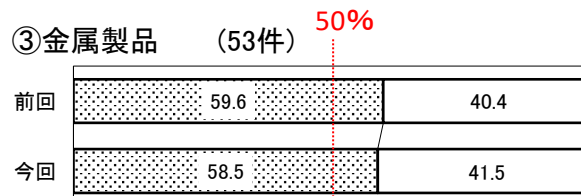
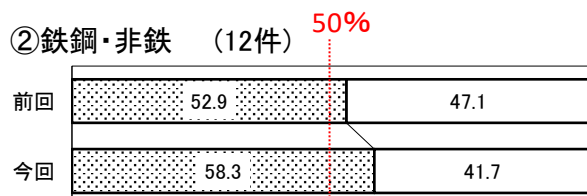
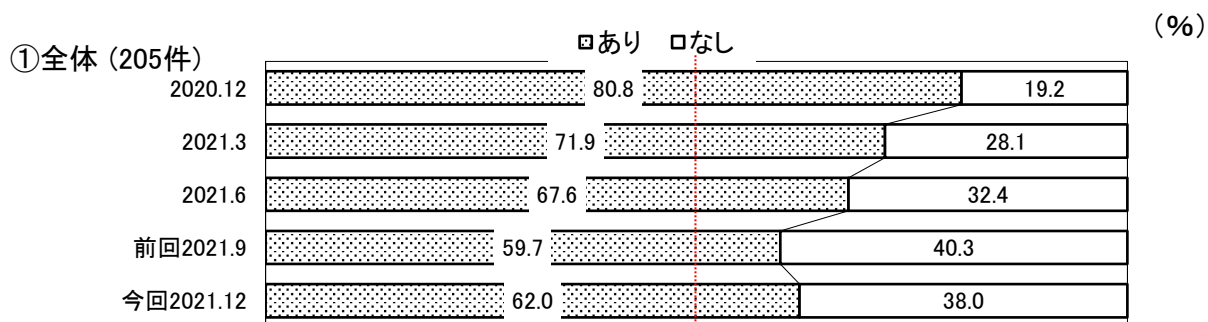
- ・10月～12月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は8.0となり、前期(7月～9月期)のD I値12.9と比べ4.9ポイント低下し、大幅に持ち直した前回調査に比べ、若干の悪化傾向が見られる。

○業種別

- ・D I値は、鉄鋼・非鉄(30.7)、樹脂製品(20.7)、金属製品(11.9)、電気機器(7.5)、一般機器(3.1)の5業種でプラスとなり、輸送用機器(▲6.6)、精密機器(▲12.5)の2業種でマイナスとなった。

- ・D I値を前回と比較すると、電気機器(0.2ポイント)の1業種のみプラスとなり、精密機器(▲1.4ポイント)、樹脂製品(▲1.5ポイント)、一般機器(▲4.7ポイント)、金属製品(▲6.7ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲8.2ポイント)、輸送用機器(▲14.3ポイント)の6業種でマイナスとなった。

(6) 受注余力について



○全体

- ・10月～12月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は24.0となり、前期(7月～9月期)のD I値19.4と比べ4.6ポイント上昇した。
- ・10月～12月期は「受注余力あり」とする企業が62.0%と、前期と比較して2.3%の増加となった。

(「受注余力あり」の割合が増加した＝マイナス傾向)

○業種別

・D I値は、電気機器の1業種のみ±0となり、一般機器(41.2)、樹脂製品(40.8)、精密機器(38.4)、金属製品(17.0)、鉄鋼・非鉄(16.6)、輸送用機器(6.6)、の6業種でプラスとなった。

・D I値を前回と比較すると、精密機器(13.4ポイント)、一般機器(11.8ポイント)、鉄鋼・非鉄(10.8ポイント)、樹脂製品(4.8)の4業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。輸送用機器(▲1.0ポイント)、金属製品(▲2.2ポイント)、電気機器(▲2.8ポイント)の3業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp